

表1 平成13年度ダイオキシン類に係る環境調査結果(総括表)

単位: 大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/L
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g

環境媒体	調査の種類 又は地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準超過 地点数	調査結果		
					平均値	最小値	最大値
大気	全体	979 (1,028)	3,833 (3,890)	8 (-)	0.13 (0.13)	0.0090 (0.0072)	1.7 (1.7)
	一般環境	762 (764)	3,068 (3,072)	6 (-)	0.14 (0.13)	0.0090 (0.0072)	1.7 (1.7)
	発生源周辺	190 (237)	667 (720)	2 (-)	0.13 (0.13)	0.011 (0.011)	1.1 (1.1)
	沿道	27 (27)	98 (98)	0 (-)	0.16 (0.16)	0.014 (0.014)	0.60 (0.60)
公共用 水域 水質	全体	2,213	2,635	47	0.25	0.0028	27
	河川	1,674	2,041	43	0.28	0.0028	27
	湖沼	95	110	1	0.21	0.021	1.2
	海域	444	484	3	0.13	0.012	3.8
公共用 水域 底質	全体	1,813	1,866	—	8.5	0.012	540
	河川	1,360	1,405	—	7.3	0.019	480
	湖沼	85	91	—	18	0.22	450
	海域	368	370	—	11	0.012	540
地下水質		1,473	1,480	0	0.074	0.00020	0.92
土壌	合計	3,735	3,735	1	6.2	0	4,600
	一般環境把握調査	2,313	2,313	0	3.2	0	240
	発生源周辺状況把握調査	1,422	1,422	1	11	0	4,600

注1:大気、公共用水域(水質、底質)及び地下水質の調査結果における平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注2:大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。
 なお、上段は夏期及び冬期を含む年2回以上調査された地点、下段()内は全調査地点の数値である。

注3:土壌については、このほかに対象地状況把握調査(3か所8地点)、調査指標確認調査(6か所30地点)及び
 範囲確定調査(1か所66地点)が実施された。